

小金地区社協だより

小金地区社会福祉協議会 編集・発行
松戸市小金きよしヶ丘 3-1-1 (小金市民センター内)
TEL 047-343-8690/FAX 047-710-3141

主な内容	1面	年度当初にあたって	「街カフェ「絆」
	2面	福祉懇談会・全体会	あじさいサロン
	3面	ふれあい会食会	
	4面	平成30年度地域セミナー	
		「かるがも」友愛訪問グループ	
		関係機関紹介⑨「松戸市社会福祉協議会」	
		地区関連事業②総合防災訓練	
		男性料理教室 小金さんぽ⑨「八坂神社」	
		事務局からこんにちは 編集後記	

小金地区社協活動から



☞ 小金地区でのふれあい会食会 (上) 街カフェ「絆」でも賑やかにひなまつり (下)

《街カフェ「絆」 =賑やかにひなまつり》

今年度新規事業として6月に開始された街カフェ「絆」ですが、2月24日(日)は、グループ長の片多海保子さんの企画で吊るしびなが飾られました。入り口には色とりどりの花、各テーブルにも七福神、お地藏様、サルぼぼなどが飾られ、きれいな色がお客様の目を楽しませました。

お客様は24名、スタッフは10名。和やかな会話が、あちこちで弾みました。お茶とお菓子を味わいながら、友愛サウンズの長谷川さんのオカリナが演奏されました。

「絆」は毎月第4日曜の午後オープンしています。(鈴木)

☞ 小金発見！ミステリーツアーでは小金社協事務局もポイント通過地点 (上) 最終到着地「いぶきの広場」ではつきたてのお餅や豚汁がふるまわれました (下)

☞ あじさいサロンは毎回大勢の参加者 (上) あじさいサロンで熱演の美亭蕎麦助さん(中)大谷口のふれあい会食会では「馬頭琴」の演奏が披露されました (下)

今年度は、切り替えの年度となりま
す。組織内の人事は多少の入れ替わり
がありますが、事業全体としては大き
な変動はありません。
ボランティアの高齢化は依然として
大きな課題ではありますが、元気な高
齢者が力を発揮する場であることは確
かです。
これまで以上に人材の確保を図りつ
つ、高齢になっても続けやすい環境を
整えることも考慮していかなければな
らないでしょう。
昨年度から始めた「街カフェ」の開
催場所を増やし、一層の充実を図りま
す。これまで継続している事業につい
ても、先進的と言われる小金地区なら
では内容になるよう、皆さんと一緒
に励んでいきたいと思えます。



小金社会福祉協議会
会長 小野 順子

《年度当初にあたって》
小金地区ならではの事業内容を！

福祉懇談会・全体会

より住みよい小金をめざして

小金地区社協では、「子育て」「高齢者」「障がい者」各分野の関係者にお集まりいただき、年間2回ずつの分科会、年1回の全体会を開き、住みよい地域づくりをめざして懇談会を行っています。今号では、まとめとしての全体会の模様をお伝えします。

《冒頭挨拶・小野順子小金地区社協会長》

野田の事件に胸を痛めています。周囲の大人がそれぞれの役割をきちんと果たして行くことが必要です。25年前、小金北中で地域連携組織を作ったきっかけは、名古屋でのいじめによる自殺でした。虐待は子どもに限らず高齢者にも起きています。この福祉懇談会はいろいろな立場の方々が参加しています。それぞれの役割を確認し、みんなで考えていきたい。《地域として》郵便局、コンビニなどは配達時に高齢者の見守りを行っている。高齢化の時代、次代を担う子ども達が健やかに育つための、大人の役割を考えたい。《行政》市では子どもに関していろいろな事業に取り組んでいる。各部の情報交換を密に行い、姿勢を同じくして取り組んでいる。市と地域の連携が今後の課題。《教育研究所》障がい児、不登校児等の支援を行っている。できる限り個別化した対応をしていきたい。不登校児には市独自で家庭訪問対応をしているが、教員を含めた大人の認識が課題。子どもへの支援は、同時に家庭の支援。入り口は学校だが地域の支援も重要。

《保育園》

小金は、子どもが増え人口も増えている。暮らしやすいことの反映。保育園の機能は子どもを預かることと同時に、子どもと親の未来を抱えている。親の心の支援もしていきたい。子どもは大人の責任において皆で見守り、育てていくことが大事。

《小学校》小金の小学校は地域の方々と密接に連携している。小学生は大きく発達する段階。地域・保護者との連携を心がけている。生活の基盤である家庭との連携がうまくいって学校活動もうまくいく。《中学校》中学校区青少年健全育成連絡会を実施。近隣の小学校、町会、行政等と情報交換をしている。学校は多くの案件を抱えているが、多忙を理由に、報告、連絡、相談を怠ると、事件の原因になりかねない。野田の事件については父親が、虐待するようになった経緯を考える必要がある。《高齢者介護施設》高齢者への虐待も増えている。施設では職員数が不足し、心に余裕がなくなっている。職員間の情報共有、地域との連携で、開かれた施設になることが大事。

《障がい者施設》親が子どもに対し、すぐに切れてしまう。自分の怒りをどう処理していいかわからない。そのようなとき、相談できる場所が必要。《児童施設》子育て支援団体《子育ての悩みを相談できる相手は、信頼関係が前提。若い親が心の悩みを相談できる窓口が増えたらいい。(若林)

《中学校》中学校区青少年健全育成連絡会を実施。近隣の小学校、町会、行政等と情報交換をしている。学校は多くの案件を抱えているが、多忙を理由に、報告、連絡、相談を怠ると、事件の原因になりかねない。野田の事件については父親が、虐待するようになった経緯を考える必要がある。《高齢者介護施設》高齢者への虐待も増えている。施設では職員数が不足し、心に余裕がなくなっている。職員間の情報共有、地域との連携で、開かれた施設になることが大事。



全体会は各分野から参加

《あじさいサロン》

語り部の声に心打たれて

2月7日(木)のあじさいサロンは、吉富グループ長の挨拶に続いて「花を咲かそう」の全員の歌声で始まりました。葵亭蕎麦助さんの落語には会場いっぱいの拍手。長く地域ボランティアとして活躍していただいた蕎麦助さんは、都内に転居のため、名残惜しい舞台でした。続いて、語り部の畑山勝子さんと吉富さんの詩吟のコラボで、田辺聖子さんの今昔物語からの作品。石田さんの縦笛、尺八、リコーダーの音曲で物語は始まりました。思い合いながら運命に流されて別れ、悲しい再会をする物語に74名の参加者は聞き入り、水を打ったよう。感動で目頭を押さえている方もいらっしやいました。



語り部と詩吟、リコーダーのコラボで「今昔物語」を熱演!

★あじさいサロンは、小金市民センターと小金北市民センターで月1回ずつ開催されています。音楽、体操、ものづくり、ゲームなど、取り上げるメニューは多彩。お世話役のボランティアの皆さんの努力もあって、年々参加者が増えています。「いつまでも元気で、地域で暮らそう」が目標です。(鈴木)

《ふれあい会食会》

和やかに、にぎやかに、健康に

【大谷口地区】2月7日、大谷口集会所で4町会29名参加。鈴木茂之副会長の挨拶、参加者紹介で始まり、松戸市東警察生活安全課の「振り込め詐欺対策」について話を伺い、昼食後の余興は、地元の原賀悦代、小林あかねのお二人による馬頭琴と社協友愛サウンズの演奏。会場の皆さんも大きな声で気持ちよさそうに歌っておられました。(鈴木)



二ツ木第2地区での会食会

【二ツ木第2地区】2月7日、蘇羽鷹神社会館で総勢36名。吉田園江事務局長の挨拶と、宇佐見雅二町会長の挨拶。東警察交通安全課の「高齢者の交通安全と詐欺防止」の講話。昼食をはさんで、初出演の木暮秀夫さんの奇術。鮮やかな腕前に会場は大拍手。おなじみの柳原良樹さんのアコーディオンで皆で合唱。好天に恵まれ、和気あいの会食会でした。(若林)

【小金本町ほか小金地区】3月14日(木)63名参加で開催。松戸市シルバー人材センターによる講演後、おいしいお弁当と具材たっぷりの味噌汁、ネギぬたを堪能。余興は『DARAWA』による演奏と全員で童謡を合唱し、大いに盛り上がりました。(西俣)

平成30年度地域セミナー
『小金地区の歴史・戦国時代編』

本年度の地域セミナーは2月7日(木)、松戸市立博物館・学芸員の中山文人さんを講師に開催されました。山中さんには、以前にも小金地区の歴史について何回か講演をしていたことがあり、わかりやすく面白いとの前評判が。そのため、小金市民センターのホールには100名を超える方々が参加。事務局の話では、申し込みの段階でお断りせざるをえない状況だったとのこと。

講演は、「この周辺が小金、大谷口と呼ばれたのはいつからだろうか」との疑問を程する形から始まりました。実は、日本の歴史の資料はもともと都があった西に多く、関東地方の戦国時代についての資料は少なく、戦国時代後期(1500年代)からほとんど。そんな中であって、小金地域は本土寺の過去帳に「合戦記録」があり、戦国時代初期(1400年代)からの資料が現存していて、1410年には小金という名前も記載されていて、その100年後には現在も残っている下宿や本宿などの名前も記され、すでに多くの人々が生活する町としての歴史があつたことがわかっていま

自分たちが住む地域の500年も前の歴史が、まざまざと蘇ってくる講演に、参加者は最後まで熱心に耳を傾けていました。(稲葉)



話に聞き入る大勢の参加者たち

ふれあい子育てサロン「かるがも」

★節分★1月22日(金)の「かるがも」は、節分行事。いつも通り遊具で遊び、アンパンマン体操ではしゃいだ後は豆まきです。紙を丸めてビニール袋に入れた特製の豆を、鬼の面をつけたスタッフめがけて「おにはーそと」。なかなか当たらない幼児たちに、応援の声しきり。(若林)

★研修・交流会★2月12日(火)、研修・交流会が行われました。昼食をとりながら、山田敦子グループ長の話につき、各班の発表と今後の子育て支援についての意見交換。研修は、ひな祭りに備え、折り紙でおひなさまを折ってリボンに吊るす、吊るしびな作り。嶋根副会長も参加。手早く作り上げ、折り方を教える側に回ったのは、「さすが!」の声。かるがものひな祭りが楽しみです。(鈴木)



研修会での吊るしびなづくり

『友愛訪問グループ』
『傾聴と音楽で心つないで』

友愛訪問グループは、主に高齢者介護施設の訪問活動を行っています。傾聴が2カ所、「友愛サウンド」としての演奏活動が6カ所です。傾聴は入所者の皆さんの心に寄り添い、お話しに耳を傾けたり、お手玉などの懐かしい遊びをして過ごします。サウンドはオカリナリコーダー、大正琴、ハーモニカなど、メンバーの得意な楽器と手づくりの歌集を持ってうかがい、思い出の歌と一緒に歌い、楽しい時間を過ごします。

結成から6年、多くのリクエストにも応えられるところから、ふれあい会食会、「絆」など訪問活動以外の活動も増えました。やさしい音色が参加者の心を癒します。個人としての出演依頼も増えています。(鈴木)



松戸徳洲苑での友愛訪問

【関係機関紹介】⑨
『地域を守る』

松戸市社会福祉協議会

取材者(西俣)は、小金地区社会福祉協議会の園芸ボランティアに参加するまで地域活動に無関心でした。しかし、活動を重なるうちに、多くの地域住民の方々によって活動が支えられていることを実感しました。そこで今回は「松戸市社会福祉協議会」についてご紹介いたします。

市社協は昭和27年10月に民間の福祉団体として設立され、昭和43年3月に社会福祉法人として認可、昨年65周年を迎えました。場所は松戸市総合福祉会館の1階にあり、災害時には松戸市災害ボランティアセンターを立ち上げます。主な業務として市内15の地区社会福祉協議会を拠点として、地域の福祉活動の活性化や住民同士の支え合い体制づくりを支援しています。その拠点である地区社会福祉協議会は、町会・自治会、民生委員児童委員、ボランティア、福祉団体や教育・医療機関の方々が広く参加するという点で、大変重要な組織です。今後は国が主導する「地域共生社会」を実践するために、各地区社会福祉協議会間の更なる連携強化が不可欠となっています。

市社協事業の一つとして、2月17日(日)に第36回松戸市福祉大会が行われました。文入加代子市社協会長の挨拶に続き、本郷谷市長ほか来賓の祝辞、紹介がありました。また各活動分野で福祉活動に長年貢献してこられた方々の表彰が行われ、約400名余りの方々、30数団体が表彰されました。第2部では、松戸市立松戸高等学校吹奏楽部の皆さんの若さ溢れる演奏が会場いっばいに響き、表彰された方々を祝いました。

この福祉大会で、当地区社協のボランティアとして5年以上活動された、稲見雅子、植木玲子、八柳昭子、稲垣圭二、岡崎有子、熊澤悦子、佐藤愛子、評議員の鈴木政二の皆様が表彰されました。おめでとうございます。(西俣)



松戸市社会福祉協議会主催の「第36回松戸市社会福祉大会」での表彰式

II 地区関連事業 II 《平成30年度小金連合町会総合防災訓練》

当地区社協は、地区の一員として、毎年町会連合会主催の防災訓練に参加しています。

今年度の北地区での訓練は、昨年12月9日(日)に小金北中で災害図上訓練DIGが実施されました。

DIGは実際の地域の地図上に鉄道や道路、広場や公園などをカラーマジックでマーキングして、防災の観点から危険箇所などを常日頃把握することで災害時の対策を考えようという訓練です。(稲葉)

南地区では1月29日(火)に小金小学校及び東漸寺を会場に実施され、当地区社協はじめ15町会・自治会、小金小学校、小金南中学校などが4班に分かれて、①マンホールトイレの組み立て等、②徒手運送・担架組み立て等、

2月20日(水)に続き、2月27日(水)、これまで募集定員16名で実施してきましたが、第4回の今回、申込者が大幅に超えたため、初めて追加開催となりました。

追加の回は7名の参加。初参加のWさんは「これから毎回参加したい」と、まな板の上で豆腐切りに挑戦。



レシピの確認は真剣に！

③避難所開設と受け入れ、を訓練した後、東禅寺会場に移動し、文化財保護を目的とした小金消防署の放水訓練を見学しました。こちらには、避難訓練を兼ねて東禅寺幼稚園の参加もあり、総参加者411名、地区一体となった防災訓練でした。

当地区社協では、大型調理機、発電機、簡易テント等を備えています。水や食料品などの備蓄も進め、地域防災活動の一助となるべく努めていきます。(若林)



災害図上訓練 (DIG)

男性料理教室・第4回 〜申し込み多数で追加の実施〜

3年目のOさんは毎回、ご自宅で奥様にごちそうするそうです。Tさんは一人暮らし、習った料理は必ず作っていると。Hさんは友人の代理出席。Iさん、Nさんは「来るのが楽しみです」

今回は舞茸ご飯、手羽元のさっぱり煮、サツマイモとほうれん草の炒め和え、味噌汁。皆さんの満足笑顔がとても素敵でした。(鈴木)



献立は毎回好評！

小金さんぽ ⑨「八坂神社」

八坂神社は現在のイオンのビルの地にありました(移転前の場所には碑が残っています)が、昭和48年の開発に伴い、JR常磐線の北小金駅から南西に約5分程度の現在の地に移転しました。

境内の石碑には「当社はもと小金天王脇一番地に鎮座し、素盞鳴尊を祀る。由緒は詳にし難く其の創立を傳ふるものを聞かず、思ふに天文の頃小金城主高城氏城下を構ふるや濱街道の要衝の地に鎮守神を勧請せられたるものならんか(後略)」と記されています。

素盞鳴尊とはスサノオノミコトのこととで、小金城の城主であった高木氏が天文(1532〜1555年)の頃に旧水戸街道の重要な宿場であった小金を守護するために創建されたということを表しています。

駅に近く、大きな道路沿いではないため結構静かで、大樹がこんもりとした境内は散歩コースにはもってこいの場所です。(稲葉)



事務局からこんにちは 〜小金発見・ミステリーツアー〜

2月23日(土)小金地域フォーラム実行委員会主催のイベントが開催されました。小金地区社協もチェックポイントの一つとなり、18グループ、総勢146人の親子が訪れました。小金地区社協の活動の説明を聞き、スタンプを押し、隠されているキーワードを探していました。

最終ポイントのいぶきの広場では「かるがも」グループの折り紙の「吊るしびな」作りも盛況でした。この機会にボランティアに参加される方を期待します。

☎(343) 8690



編集後記

当地区社会福祉事業の内容を、地域の皆様にわかりやすくお届けし、和やかで、活気あるボランティア主体の活動を知っていただこうと、思いを巡らせながら取材に走り、シャッターを切り、ペンを走らせています。(鈴木)

広報事業推進室長 若林桂子
・稲葉眞理・西俣良光・鈴木洋子

◆小金町会・自治会名

- 小金上町町会 小金本町町会 小金八坂町町会 小金宮元町町会 小金中町町会 小金下町町会
- 小金上総町自治会 小金清志町町会 ニツ木第一町会 ニツ木第二町会 大谷口町会
- 大谷口北自治会 大谷口南町会 大金平一丁目町会 大金平二丁目町会 大金平三丁目町会
- 大金平四丁目町会 大金平五丁目町会 中金杉自治会 幸田自治会 富多葉自治会 平賀町会
- 殿平賀町会 殿平賀南町会 東平賀町会 東平賀北町会 東平賀城町町会 きよしヶ丘町会
- シャランボール町会 久保平賀町会 根木内城山自治会 北小金ハイイツ管理組合自治会 オール新松戸管理組合
- ラミーユ松戸ハイライズ自治会 きよしヶ丘サンビュールハイイツ自治会